

令和元年度 研究・調査企画会議 事後評価部会（第1回）

議事概要

1 日時：令和元年7月4日（木）13：30～17：50

2 場所：食品安全委員会中会議室

3 出席者（6名）五十音順

圓藤 陽子 圓藤労働衛生コンサルタント事務所所長

◎岡部 信彦 川崎市健康安全研究所所長

鬼武 一夫 日本生活協同組合連合会品質保証本部総合品質保証担当

丸井 英二 人間総合科学大学教授

宮崎 茂 一般財団法人生物科学安全研究所参与

望月 眞弓 慶應義塾大学薬学部特任教授

（◎：座長）

その他、食品安全委員会から佐藤委員長ほか3名が、事務局から川島事務局長ほか7名が出席

4 議事概要

（1）平成30年度終了研究課題の事後評価（ヒアリング審査）

○ 平成30年度で終了した研究課題（6課題）の成果について事後評価を行うため、各課題の主任研究者に対しヒアリング審査を実施した。

○ 各課題の評価所見(案)を、事務局が整理した上で、次回の事後評価部会で審議することとなった。

<事後評価対象課題>

○ 発生毒性試験における胎児形態異常に関するデータ収集と骨格変異の毒性学的意義に関する研究：フルシトシン誘発性過剰肋骨の発現機序からの考察

○ 試験管内プリオン増幅系を用いた「種の壁」の定量的評価のための研究

○ コリスチン耐性菌の出現状況と特性解析に関する研究

○ 無機ヒ素ばく露評価およびその手法に関する研究

○ 食物アレルギーと経口免疫寛容の成立機序の違いとアナフィラキシーの発症機序から見たリスク評価

○ 食品添加物のリスク評価手法に関する研究—乳児を対象とした評価手法及び再生試験全般に関する最新の国際動向等を踏まえた提言—

（2）その他

○ 事務局から、今後の事後評価部会の開催スケジュールについて説明があった。

(注：本部会は個別具体的な研究者や研究課題名及び研究の内容に言及して議論が行われることから、非公開で行った。
このため、本会議の議事概要についても、それらが特定されない形で公表するものである。)